

ウィリアム・メレル・ヴォーリズの功績

関連キーワード： ウィリアム・メレル・ヴォーリズ、建築金物、ヴォーリズ建築

研究内容

・ウィリアム・メレル・ヴォーリズの生涯および建築を中心として功績について研究をしています。ウィリアム・メレル・ヴォーリズは、日本における西洋建築の建設の面で大きな役割を果たし、その建物は日本全国に建築されました。個人の建築家としては最も多くの作品が重要文化財に登録されています。

・現在も多くの建築物が残っており、大正・昭和期における西洋建築として重要な文化財となっております。

・また、ヴォーリズの建築における功績は、建物だけではなく、建築金物にも広がりました。ヴォーリズが関わった OSC (近江セールズ) 製建築金物 (ドアクローザー、錠前、ドアノブ) は、昭和初期における国産の建築金物の代表であり、最高級の品質であり、国会議事堂をはじめ多くの建築物に採用されました。

・現在、これらのものの多くは、交換や廃棄されてしまっていますが、まだ現存しているものもあります。



研究者プロフィール

- ・文学部 総合人文学科 講師 大門耕平
- ・研究テーマ ウィリアム・メレル・ヴォーリズ
- ・所属学会 応用心理学会、教育実践学会など

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ 他

・ヴォーリズ建築や OSC 製建築金物は日本で多くの場所に現存しております。そのため、地域の歴史を受け継ぐことなどにおいて連携できると考えています。

・また、ヴォーリズ建築が失われたとしてもその歴史を掘り起こし、その価値について掘り起こすことで地域貢献ができると考えています。

・さらに OSC 製建築金物は、現存するものの調査がほとんどされておらず、調査によりその存在を見出すことは大きな意義があると考えています。

研究者への連絡先

産学連携推進センター

E-mail srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

電話 022-354-8122